



2023年11月8日

各位

会社名：株式会社パリミキホールディングス
代表者名：代表取締役社長 澤田 将広
(コード：7455 東証スタンダード)
問合わせ先：執行役員 財務経理担当 加山 雄治
(TEL. 03-6432-0732)

通期連結業績予想の修正、および営業外収益の計上見込みに関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に公表しました2024年3月期の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	48,300	1,025	1,210	610	12.01
今回修正予想（B）	49,400	1,800	2,310	1,615	31.79
増減額（B－A）	1,100	775	1,099	1,005	
増 減 率（％）	2.3	75.6	90.9	164.8	
（ご参考）前期連結実績 （2023年3月期）	47,400	732	1,206	501	9.88

業績予想修正の理由

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、人々の行動が活発になり外出の機会が増えたことで、サングラスを中心に売上が好調であったことが業績修正の主な要因です。また、コロナ禍では客足が減少した補聴器販売やインバウンド売上も順調に回復しており、期初に売上高の増加は見込んでいたものの、想定を上回って推移しております。

販売費及び一般管理費につきましては、TVCM等の見直しにより、大きな広告宣伝費を削減し、効果を見ながら地域に合わせた効率の良い販促に絞って実施してきたことも売上高、営業利益に貢献したものと見ています。

なお、第3四半期以降におきましては、広告宣伝費など第2四半期累計期間同様の経費削減を見積もってはいないものの、好調な売上は継続するものと見込んでいます。

また、以下に説明のとおり、為替差益計上の影響もあり、経常利益も想定を上回る見込みであり、親会社株主に帰属する当期純利益も想定を上回ると見込んでいるため、予想を修正することといたしました。

2. 営業外収益（為替差益）の計上

2024年3月期第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の外国為替相場の変動により、為替差益373百万円を計上する見込みです。これは主として、2024年3月期第2四半期末時点における外貨建資産を同日の為替相場で評価替えしたことによるものです。

なお、2024年3月期第1四半期会計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）において、為替差益286百万円を計上していたため、2024年3月期第2四半期会計期間におきましては86百万円の為替差益の計上となる見込みです。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績はこの後もさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上